

区自治協議会提案事業 事業評価書

西蒲区自治協議会（総務部会）

区 分	内 容
テーマ・事業名	住みよい・豊かな・活力あるまちづくり 【事業費予算 340千円】
事業目的・概要	【目的】 防災や教育、スポーツなど複数の分野が一堂に会するイベントを開催することで、「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指します。 【概要】 講演会及び会場を避難所と想定した体験を通じて、災害時における被害を最小限に抑えるため、自らできる「減災」を学んでもらう。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	事業名 「リアル避難所体験 理想と現実 防災と減災」 日 時 令和7年2月16日(日)午前10時～正午 会 場 西川多目的ホール 内 容 ① 講演会「避難所運営のあり方」 講師:新潟大学医歯学総合研究科 先進血管病・ 塞栓症治療・予防講座 特任教授 榛沢和彦 氏 ② 講演会「共助による避難所運営」 講師:日本防災士会・新潟県支部 事務局長 成川一正 氏 ③ 避難所体験 指導:日本防災士会・新潟県支部 内容:シェイクアウト訓練、ブラックアウト訓練、 地域で代表者を決める話し合い、 避難者カードの記入・提出、物資の受け取り など 対 象 どなたでも 参 加 者 82名 持 ち 物 非常用持ち出し袋(持っている人のみ) 【アンケート結果】 提出数:79件(提出率:96%) ・日本の防災体制に遅れがあることが分かった。 ・海外の避難所がいろんな面で確立されていることに驚きがあった。 ・避難所を自分たちで運営するのは難しいが、誰かがやらなければならないことを理解した。 ・避難所体験に参加して、日ごろから地域の人と顔を合わせておく必要があると感じた。 ・避難所では十分な物資が配られるわけではないことが理解できた。日ごろから用意しておくべきものを再確認できた。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	【成果】 ・避難所の運営は地域の人たちで協力してやらなければならないことを伝えられた。 ・実際に照明を落とすことで、各自備えているライトがどの程度の役割を果たすのか、検証してもらうことができた。 ・初めて顔を合わせる人同士で話し合うのは少々ハードルが高かったが、普段から地域の人とかかわることの大切さを伝えることができた。 ・アンケートの結果から、講演会および避難所体験について「良かった」と答える人が7割を超えており、比較的満足度の高い事業であった。 【課題】 ・今回体験していただいた内容を、自治会・町内会で活かしていただくはたらきかけが必要。
備考	